

A News Letter from Woody Akiba

自然な住まいを愛するニュースレター



2003/NO1

有名建築家”ナチュラル”インタビュー その1 劇的ナチュラルリスト！ 瀬野和弘さんの巻

瀬野和弘さんといえば、テレビ朝日の「劇的ビフォーアフター」をはじめ数々の建築雑誌をにぎわす有名な建築家です。先日、その瀬野さんにお会いすることができました。瀬野さんは、大成建設の設計部に在籍していたころ、収まりや木の扱いを教えてもらうために、お茶やコーヒーを持参して大工さんのところへ通ったそうです。疑問なことがあるとまた何度も何度も出かけていったそうです。それだけに瀬野さんが職人さんのことを話すときには親しみがこもってます。私が「家はやはり大工さんが基本ですよ。」という、すかさず「あたりまえでしょ！」と返してくれた。瀬野さんは「物づくりは対話が大切だと思う。つぶやくような対話の精神がなかったらだめなんじゃないかな。素材と対話し、施主と対話する。そんな風に、常に課題と緊張感を持って設計や現場に臨んでいきたいですね。」と語っています。「家は完成した時が終わりではなく、そこから命が吹き込まれるんです。本物の木は磨けば磨くほど光り、長持ちする。これが本当の家です。」と語っている。（新建ハウジング）さらに、

「簡単で便利な生活は後戻りできないほど浸透しているのも事実です。」と認めた上で「コーティングして見栄えだけよくしたメンテナンスフリーの家が20年後30年後に粗大ゴミとなっていく。住まい手の健康すら脅かしている。」「おかしな家に気づいた人たちから少しずつ変わり始めている。その共感の輪は広がっていくと思う。」（瀬野さん）

私も、共感するひとりとして、お客様に素材とそしてお客様と対話していきたいと思います。

瀬野さんの印象はとってもハンサムでオシャレ。話すと山形のなまりが少し、興奮してくるともう山形弁そのもの！瀬野さん自身がとってもナチュラルテイストな方でした。



記念写真におさまる瀬野さんと私



瀬野さんのポートレートと瀬野さんの考え方「自然の摂理にかなった家づくり」の代表作。「越屋根のある家」の外観デザイン。

A News Letter from Woody Akiba

2003/NO1

住まいの毒の話1

ホルムアルデヒド。
ホルマリンが気化した状態の化学物質。塗料、カーペット、家具、タバコの煙、暖房器具の排気などに含まれる成分です。刺激臭を伴う無色の気体となって空气中に発散され、特に夏季の閉めきった新築では、発散量も増加します。目の不快感や痛み、頭痛、疲労感の一因ともなります。いわゆるシックハウスの原因となる成分です。これが社会問題にまでなったことから、今後はさらに厳しい制限が加えられていく方向です。現在では、合板もF0を使用することで解決する、とされていますが、やはり室内での合板など、化学成分を含む素材は使用を控えた方がいいですね。

お知らせ・情報

私は、木の好きな仲間を探しています。お気軽にご連絡ください。現在、八千代市にて、泉幸甫さん設計の建物を施工しています。木と土と紙の住まいをまもなくお知らせします。本ニュースレターは下記のホームページからもご覧いただくことができます。

発行者
「自然の住まい研究室」
秋葉 建設㈱ 秋葉 忠夫
289-2163八日市場市南神崎52-1
電話0479-72-0814FAX0479-72-0824
電子メールakibakk@rapid.ocn.ne.jp
URL <http://www1.ocn.ne.jp/~akiba/>

次号も読んでいただける方は上記までご住所・お名前・ご連絡先をお知らせ願います。感謝！感激！特製の「木のはがき」を贈呈します。「木のはがき」がほしいだけでも結構です。携帯電話の留守伝は24時間OKです。090-4607-2895へどうぞ。

爆笑！事件簿1

全員気絶
この春小学一年生になったばかりのこどもが夏休みの登校日から帰って来て、「今日ね、みんなで立ったり座ったりする練習したの」って私を座らせて、「お母さん、こういったら立つんだよ」と大声で言いました。「ぜ～んい～ん、きぜつ！！」。私はそのまま後ろへ倒れました

合格発表
高3の頃のお話。九州から東京に遊びに行った際に、その日が東京大学の合格発表日だと聞きつけ、友人5人で偽りの胴上げを行い、全国ネットのTVで放映されました。それを学校で自慢げに話し、翌年は先輩が同じことを。そして、またもやTV放映。そんな僕たち、み～んな工業高校の就職組です。

床屋での会話
はげオヤジ「あんで、俺みたいなハゲでも同じ料金取るんだよお」
床屋おやじ「うっせえ！おめえみたいなハゲは！切る場所を探すのが手間なんだよ！手間！」。おそらく常連さんとの会話でしょうが…。“切る場所を探すのが手間”と言われてはなあ。言い返せまいて

恐喝事件
中学2年の夏休みに友達2人で魚釣りをしに行った帰り、怖そうな顔のお兄さんに「金出さんかい！」とスゴまれました。友人は普段から天然が入ってたのですが、間髪入れず「違います！」ん？と私も怖そうな顔のお兄さんも？？？でした。逆上した怖そうな顔のお兄さんは、さらに大きな声で「金出さんかい！言うてるんじゃ！」しかし友達は「違います！」の返事。そこへ、何人かの大人が通りがかったために事なきを得ましたが、意味のわからない私は友達に聞きました「違います！」って何？と。すると友達は「かねださんちやうもん」と…。ちなみに彼の名前は種田です。

(出典・まぐまぐより)

無料プレゼント！



建築家がデザインする家「プロハウス」の季刊誌をプレゼント。

「男の隠れ家」「チルチン人」「ニューハウス」「あたらしい住まいの設計」「新建築」「住宅建築」などの住宅雑誌、さらには「劇的ビフォーアフター」に登場した有名建築家が設計する家が1000万円台から掲載されている本です。いまなら、有名建築家を紹介しているマガジンの最新号を無料でプレゼントしています。ご希望の方は、電話0479-72-0814、ファックス0479-72-0824、はがきは〒289-2163八日市場市南神崎52-1秋葉建設㈱まで、電子メールの方はakibakk@rapid.ocn.ne.jpまで、ご住所・お名前・ご連絡先電話番号を明記の上、お申し込みください。本月は先着30名様限定で締め切らせていただきます。尚、表紙が写真と異なる場合があります。